

令和4年度 苫小牧市職人育成応援事業 研修報告書

1. 事業の概要	1 p ~ 2 p
2. 研修日程	2 p ~ 3 p
3. 研修生取得資格一覧・就職状況	4 p
4. 施設内研修報告	5 p ~ 11 p
5. 企業研修報告	12 p ~ 17 p
6. 事業評価	18 p ~ 22 p
7. 修了生状況報告	23 p

1. 事業の概要

事業の目的

苫小牧市における建設業における人手不足等の課題を踏まえ、将来を支える求職者の入職促進、人材育成を行うとともに、継続雇用を図ることを目的に実施する。

この事業は、企業、団体等の連携体に対し、入職者の育成のための OJT の実施のほか、スキルアップのための OFF-JT を含めた研修カリキュラム及び技能向上のための各種資格の取得支援を委託することで、将来にわたり希望や誇りの持てる建設業の活性化を図る。

研修生雇用の状況

令和4年度事業では、20歳から45歳までの10名を研修生として採用しました。

募集期間4月1日から5月30日とし、9名の応募があり内8名を採用致しましたが、定員を満たしていなかった為、追加募集を行い2名を採用し、7月1日から研修生10名で事業を開始致しました。

募集期間	応募者人数	採用人数
4/1～5/30	9	8
5/31～	2	2

研修生募集説明会を計8回実施し、計15名の方々に参加していただきました。

下記の表は、研修生募集の告知手段と何を見て説明会に参加したかを記載しております。

研修生募集の告知手段	人数（複数回答あり）
ホームページ	2
折り込みチラシ	3
ハローワーク	8
知人	3

研修生10名の職歴

	年齢	性別	職歴
A	36	男	なし
B	27	男	交通警備員、漁船船員
C	27	男	市役所勤務
D	36	男	飲食店勤務、ドラッグストア勤務、スーパー勤務、下水処理センター勤務、社会福祉法人勤務
E	45	男	大工見習、機会オペレーター、介護職、土木作業員
F	20	男	自動車板金塗装作業員
G	33	男	介護職、学生寮調理補助
H	41	男	物流会社勤務、鉄工所勤務
I	30	男	土木作業員、自動車製造業、軌道工事作業員、郵便配達員、発電所作業員
J	23	男	足場組立て作業員、自動車部品のライン工

※年齢は令和4年7月1日時点

2. 研修日程

7月・8月・9月

座学、施設内実習、資格取得講習、就職支援

10月

座学、職場見学期間、就職支援

11月・12月

業務研修・職場見学期間、座学、就職支援、資格取得講習（12月）

1月

研修生就職活動期間

3. 研修生取得資格・就職状況一覧

○研修生取得資格一覧 計14種

- ・ 玉掛け技能講習
- ・ 小型移動式クレーン運転技能講習
- ・ フォークリフト運転技能講習
- ・ 高所作業車運転技能講習
- ・ ガス溶接技能講習
- ・ フルハーネス型安全带特別教育
- ・ 低圧電気取扱特別教育
- ・ 足場の組立て等特別教育
- ・ アーク溶接特別教育
- ・ ローラーの運転業務特別教育
- ・ 自由研削といしの取り替え等の業務に係る特別教育
- ・ 小型車両系建設機械運転特別教育
- ・ 丸のこ等取り扱い作業従事者安全教育
- ・ 刈払機取扱作業安全衛生教育



○研修生就職状況(令和5年1月31日現在)

今年度事業では、研修生の就職意欲が高く、職場見学終了後の段階で応募先を決める研修生が多い傾向がありました。

- ・ 建設関連企業就職者 4名
 - 建築板金業 1名 配管業 1名
 - 電気工事業 1名 土留工事業 1名
- ・ 建設関連以外企業就職者 3名
 - 製造管理員 1名 工場作業員 1名
 - 事務職 1名
- ・ 未就職者 3名 (自己都合により退職)

4. 施設内研修報告

○就職基礎研修

研修内容 ビジネスマナー・名刺交換の仕方・一般教養等



○建設業概論

研修内容 建設業の現状と将来・鉄筋工事とコンクリート工事
他国建設現場の足場・建設工事の基礎知識等



○安全教育

研修内容 安全衛生・AED の使用方法等



○器工具手道具実習

研修内容 建築大工で使用する各種工具の使い方・手入れ等



○大工実習

研修内容 各種工具の使用・木材の寸法計測・墨付け・穴開け・切断



○内装実習

研修内容 内装工事における基礎行程（壁紙、タイルの貼替等）



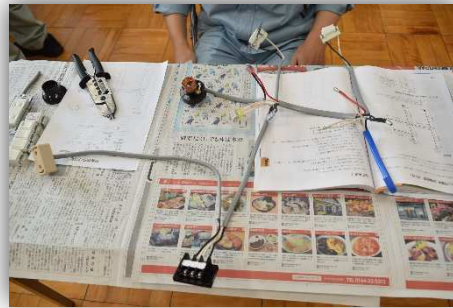
○塗装実習

研修内容 塗装業の基本（実技）



○電気実習

研修内容 電気工事に必要な知識の習得・第2種電気工事士実技試験の演習



○板金実習

研修内容 板金工の仕事と工具の取扱・実習



○配管実習

研修内容 配管工事の基礎作業・建築配管 2 級課題の作製



○左官実習

研修内容 左官業の基本（材料の作製と実技）



○造園実習

研修内容 造園工の仕事と工具の取扱・実習



○溶接実習

研修内容 アーク溶接・ガス溶接・半自動溶接・グラインダーの使用方法



○足場組立て実習

研修内容 足場の組立て解体



○パソコン・Jw-cad 講習・就職支援

研修内容 パソコンの基本操作・cadの基本操作・応募書類の作成方法



○ファイナンシャル・プランニング講座

研修内容 社会保険・年金制度・税金等



5. 企業研修報告

①職場見学

職場見学では、研修生が各建設関連企業に訪問し業務内容を見学・体験します。研修先は本人の希望業種に基づき、期間は1企業あたり1～5日間です。

受入企業数 計19社

企 業 名	業 種	希望者数	受入日数	延べ受入人数
株式会社サトウ工業	板 金	3	3	8
有限会社フミオ建装工業	塗 装	2	1	2
北海道アルミ建材工業株式会社	建 具	1	2	2
株式会社電気工事西川組	電気工事	2	2	2
野田電気設備株式会社	電気工事	1	2	2
株式会社厚信電機	電気工事	1	1	1
株式会社ゴダイ電設	電気工事	1	1	1
株式会社ユーテック	電気工事	2	1	2
KAZU 電工株式会社	電気工事	1	1	1
有限会社藤澤鉄工所	鉄 工	3	8	8
株式会社成友設備	配 管	1	1	1
サンケイ機工株式会社	配 管	1	2	2
長岡造園株式会社	造 園	1	1	1
三浦造園株式会社	造 園	1	2	2
株式会社久慈重機	土留工事	3	1	3
有限会社まる良佐藤建業	型枠大工	1	1	1
株式会社ロゴスホーム	大 工	1	1	1
株式会社拓道建設	土 木	1	1	1
日輝通商株式会社	プラスチ ック加工	1	1	1

体験研修内容

※研修生が記入した研修日報より記載

板金工事企業

- ・半自動溶接
- ・アーク溶接
- ・TIG 溶接
- ・サンダーでのバリ取り
- ・SUS 焼け取り



塗装工事企業

- ・外壁塗装
- ・施工完了工事現場見学



建具工事企業

- ・アルミの加工
- ・シリコン角取り



電気工事企業

- ・各設備の点検 ・配電盤修理の見学 ・基礎工事の現場見学
- ・浄水場施設の外観工事見学 ・外灯のパトロール見学
- ・端子の接続練習 ・照明器具の工事現場見学



配管工事企業

- ・配管工事見学 ・溶接作業見学 ・機械仕上げ見学 ・工場内見学
- ・タンクの解体見学



鉄工工事企業

- ・工場内見学 ・看板製作 ・取り付けブラケット製作 ・板曲げ加工
- ・異形鉄筋切断 ・配管加工 ・半自動溶接 ・アーク溶接 ・TIG 溶接
- ・サンダーでバリ取り ・部品塗装 ・フォークリフト操作 ・バンドソー作業



造園工事企業

- ・ 石材タイル外し
- ・ モルタル外し
- ・ 園路補修



土留工事企業

- ・ クレーン操作
- ・ 重機の見学



型枠大工工事企業

- ・ 型枠の溶接見学
- ・ 鉄筋のまくばり

大工工事企業

- ・ 工場内見学



土木工事企業

- ・ 施工完了現場見学
- ・ コンクリート埋め立て工事現場見学
- ・ 建設機械操作体験



プラスチック加工企業

- ・ 工場内見学



② 業務研修

業務研修では、職場見学で訪問した企業の中で、研修生自身が就職を希望する（検討する）企業で再度研修します。期間は1企業あたり約3週間～4週間です。

受け入れ企業数 計3社

企業名	業種	希望者数	受入日数	延べ受入人数
株式会社サトウ工業	板金	1	17	17
サンケイ機工株式会社	配管	1	18	18
日輝通商株式会社	プラスチック加工	1	2	2

体験研修内容

※研修生が記入した研修日報より記載

板金工事企業

- ・ フレーム溶接 ・ TIG 溶接 ・ 倉庫屋根部材取り付け ・ 現場火気監視
- ・ 現場周り散水、養生 ・ 屋根ふき ・ 締め込み機操作 ・ ビス打ち ・ 部材配置
- ・ 墨出し ・ 水切り取り付け ・ 土留め桎板貼り ・ 鋼材切断 ・ バリ取り



配管工事企業

- ・ ガス切断 ・ 半自動溶接 ・ トレイ設置 ・ 塗装作業 ・ ビス打ち ・ コーキング



プラスチック加工企業

- ・ パレットのプレス作業 ・ フォークリフト作業 ・ フレコンパックの荷下ろし



6. 事業評価

1. 施設内実習講師の研修生に対する評価

令和4年度事業では、24名の方々に施設内実習の講師を引き受けていただきました。各々の講師の方から各研修生に対する評価をいただきましたので、回答をいただいた実習毎にそれぞれまとめて以下に掲載致します。

内装実習

- ・話を聞く姿勢及び集中力があると感じた。
- ・積極的に質問もあり、指導に従っていて努力を感じた。
- ・やる気を感じた。職人を目指し頑張っていて欲しいと思った。

電気実習

- ・今回の実習における理解度が非常に良いと感じた。
- ・座学、実技ともに真摯に向き合っていたように思う。
- ・実技は一つ一つの作業を丁寧に実施していた。
- ・飲み込みが早く素直に受け答えをして好印象だった。
- ・助言した事に対しては対応していたが、積極性及び熱意を感じなかった。
- ・プライドが高い印象を受けた。
- ・課題の出来栄で雑さが目立っていた。
- ・話を聞く姿勢がとても悪い。

配管実習

- ・真面目に取り組んでいて良いと感じた。
- ・実習が始まると理解力もあり、作業も楽しそうにしていた。コミュニケーションが取れる様になると化けると思った。
- ・一見積極的且つ指導に従っている様で、案外理解していない。
- ・言われたことだけは、行動しているが物事を理解しようとは根本的に思っていない。

左官実習

- ・卒なく作業を進めていた。何をやらせてもやっつけていける気がする。
- ・頑張っていたが、少し不器用さを感じた。

造園実習

- ・気の使える方だと感じた。
- ・説明を理解したようにしていたが、本当に理解していたかはわからなかった。
- ・出来た物に興味は持っていたが、商品を雑に扱う。
- ・理解できない事を解決しようとしていなかった。

2. 研修生の評価・感想

各研修生の研修内容や事業全体に対する評価・感想を以下に掲載します。

(1) 施設内研修

座学講習について

- ・安全教育や建設業概論の研修は、どの業種に就業しても絶対不可欠な安全認識を早い段階で学べたので自分にとって大きかったです。
- ・建設業概論の研修は建設業の様々な業種や仕事内容について学べて良かったです。
- ・座学研修については就職してもこの先ずっと役に立つありがたい勉強でした。
- ・就職基礎の研修は面接時や会社訪問の際に役立ちました。
- ・FP講座は、これからのお金の運用の仕方を考える上で勉強になりました。
- ・FP講座は学ぶ機会のない必要な社会保障、保険や年金等、大変役立つ事を学べました。
- ・就職支援では履歴書や職務経歴書等の正しい書き方がわかり、就職活動をする上でとても助かりました。
- ・建設業概論に関しては、職種の内容に偏りがあったように感じました。

職種別実習について

- ・全ての実習にて、新鮮さと楽しさ、難しさを常に実感しました。
- ・講師の方々が自分達の仕事の良い所や誇れるところを話している時や研修生へ対応している時の表情が印象的でした。自分達の仕事に誇りを持っているからこそ、研修生からの些細な質問にもしっかり細かく指導していただけたのだと思います。
- ・各実習の日数が少なかったです。個人的には特に興味の沸いた実習はもう少し受けたかったです。
- ・普段できないことを専門の方々に教えてもらいながらでき、且つ興味を持てた分野もあるので良かったです。
- ・実習中は緊張していましたが、とても勉強になることが多かったです。
- ・実習を受けた事によって、本職の域に行かないまでも、多少のレベルアップをはかれたのではないかと思います。経験値の一つとして学んだ事をしっかり覚えておきたいと感じました。
- ・各実習で業種についての基礎説明と道具の使い方を学び、実際に体験出来た事で、自分の働くイメージを思い描くのにとっても参考になりました。
- ・実際に職人の方からお話を聞けることは普段できないので、とても良い実習でした。

資格取得について

- ・これから使う資格ばかりを取得させてもらえて良かったですが、大型自動車免許や大型特殊免許等も取得させてもらえると尚良かったです。
- ・短期間で多くの資格を取得出来たのは良かったです。自分が取得済みだった資格についても再教育の感覚で学び直せて良かったです。
- ・14種類の資格を無料で取得できるので、すごく助かりました。
- ・多くの資格を取得できた事で、選択できる業種が増えたので、建設業就職を目指す上では良かったと感じました。
- ・出来るのであれば、小型ではなく大型の資格が取れば良かったと感じました。

(2) 企業研修

企業の印象について

- ・研修というよりは、作業補助員として見学に行ったような感じでした。
- ・現場での作業に携わった事で、業界に対しての興味が深くなりました。
- ・職人ならではの技術を目の前で見ることが出来て、とても面白みがありました。
- ・見学に行った業種については、働きやすそうだと感じました。
- ・作業中にフォークリフトを運転しているのを見て興味がわきました。
- ・実際に見学、研修ができた事で、その企業はどのような仕事をしているのかどんな施設がありどんな仕事をしているのかを感じる事が出来ました。
- ・職場の雰囲気や人間関係を少し感じる事が出来ました。

研修生への対応について

- ・現場で勤務している方々に親切に対応していただきました。注意事項に関してもその場で研修生が理解できるまで教えていただけました。
- ・研修生の適性や興味に合わせて指示をしていただけました。
- ・どの企業でも丁寧に対応していただきました。

安全対策について

- ・見学に行った業種については、機械等の安全カバーもなくほぼ対策はしていなかったのので、新人には危険だと感じました。
- ・どの職場でも安全に気を付けて作業していました。
- ・安全対策に関わる道具については、必要に応じて貸していただけました。
- ・見学した範囲では対策されていると感じました。

設備・環境について

- ・一部の企業では、職場のトイレが使えずに不便でした。
- ・ものづくりに便利で効率の良い機械が多く興味深かったです。
- ・環境に関しては、適宜ドアや窓、シャッターを開放することで、粉塵が空気中に溜まるのを防いだり、作業一つ一つがしっかりとこなされていて、常に清潔感のある作業場作りができていたと感じました。
- ・従業員一人一人にロッカーや道具置き場があり、それぞれの従業員が尊重されているように感じました。

その他

- ・自分の年齢的な部分で、企業とのミスマッチがあった為、見学に行く前にあらかじめ知りたかったです。
- ・実際に企業研修に行って業務に関わってみると、どれも一度間違えるとやり直しのきかない一発勝負のプロの世界を感じました。

(3) 研修開始前と終了後の意識(気持ち)の変化について

- ・建設業自体は屋外業務や厳しい時間拘束が伴う一方で、自分の仕事が形として残ることが何より誇りだろうという認識をもっていました。講師の方々もそのような言葉を誇りの一つとしてあげていらっしゃいました。その認識は研修終了後も変わっていませんし、素敵な矜持だと思います。
- ・事業に応募する前は、正社員での就職は難しいかもしれないけれども、自分の視野が広がって建設業界の見方が変わり、就職に繋がればと考えていました。施設内研修を受けていく中で自分に適性があると感じた電気設備の仕事の求人があることに気づき、働いてみたいと感じました。
- ・建設業は意識的にきつい汚い危険だからと研修前は思っていました。ですが、建設業でも様々な分野があり、造園業が建設業だと知れたりとても勉強になりました。誰かから建設業に就きたいと伝えられた時は、今回のような研修が受けられるところがあると勧めたいと思いました。
- ・建設業の職種が多くあることを知れたり、その仕事の必要さや働き手の少なさ、その他の建設業のマイナスだと思っていた働き方等が改善されている事を知り、建設業に対するイメージが良くなりました。
- ・元々、建設業に関わっていたので、研修開始前も研修中も安全に作業する、慎重にもの確認をする、周囲とのコミュニケーションをはかり危険要素をなくしていく等の意識は持っていたと思います。今回の研修で様々な職人（講師）の方々個性あふれる沢山の言葉に一喜一憂するところもあったりする部分も含め、今後に活かすことのできる出会いが沢山あったと思います。
- ・研修開始前は資格を取得して早く就職しようと思っていました。研修期間は初めてやるが多かったのも周りと楽しく出来ました。建設業は昔より働きやすいのかなという印象も受けました。

(4) 応募先を決めた理由

- ・ 家族を養っていかなければならないので賃金と福利厚生で決めました。
- ・ 自分が無理せず働ける職場環境であることを第一に考え、将来のキャリアを確実に思い描ける会社を選びました。
- ・ 自分の体力や会社の環境等を重視しました。
- ・ 賃金と自分の経験を活かせるかを重視して決めました。
- ・ その仕事が好きでできるかと、働きやすいかで決めました。
- ・ 職場環境の良さ、給与、作業内容を重視して決めました。

(5) 苫小牧市職人育成応援事業への評価

- ・ 数ヶ月間の研修でしたが、色々な体験もできたし、学べる事がたくさんあり今後の人生に役立つと思うので良い経験ができました。
- ・ 作業免許の資格も非常に重要ではありますが、国家資格を取得する機会を研修カリキュラムの中に導入して欲しいとは思いました。
- ・ 施設内の研修については、1日1科目ではなく、1日2~3科目行えるようにすると良いと感じました。
- ・ 建設業についての知識は少なく資格もほぼない状態でしたが、事業に参加出来た事で、各業種がどのような仕事をしているかや見学に行けた企業の情報を知れて多くの資格と知識といったこれからは活かしていける事を学びました。
- ・ 講師の方々に指導していただいた実習では、新しい体験と興味を得られた一方で、自身の下手さや不向きさを痛感したが、総じて貴重な経験ができて嬉しく思いました。
- ・ 資格を得た事によって、多少なりとも自己肯定感が増した気持ちになり、事業に参加して良かったと心から思いました。

7. 修了生状況報告

令和3年度 苫小牧市職人育成応援事業の修了生に下記の調査をし、回答をいただきましたので報告致します。

(1) 実際に約1年間勤務してみたの率直な感想

- ・建設業女性進出と謳っているがまだまだ配慮に足りない考えの方もいると感じました。
- ・年齢が若い方は性別等関係ないとの考え方が多いと感じました。
- ・新人には仕事より下働きをさせるイメージが多かったが中間層の従業員のおかげで新人にやらせてもらえないような仕事を任されて今少しずつだが技術が身に付いてきているなどと思います。
- ・精神的にも、特に体力面(力仕事)で男性と同じには働けない、男性の仕事、男性の職場なのかななどと思います。

(2) 研修中から就職後の気持ちの変化について

- ・変わらず職人を目指そうとしています。
- ・研修中は、資格取得をして建設業について学んだけれども、実際に勤まるかが心配でした。ですが、実際に働いてみると、目の前にある仕事を真摯に取り組めましたし、なんとかなるという前向きな気持ちになりました。

(3) 就職後に感じた事業に参加して良かったと思う事、役立っている事

- ・多くの建設業の仕事を知ることによってなんとなくだが建築物がどのように造られているかが分かり、現場の流れも少し理解できたことです。
- ・免許を持っていることによってできることが増えたことです。
- ・建設業界に知り合いができたおかげで現場に行った時に話せたことです。
- ・今までの職歴から異業種への転職でしたので、全くの素人で働いて教わる場合、例えば、本当は資格がない人は行えない作業であっても知らずに(気づかずに)作業していた可能性が高かったと思います。という事は、知らず知らずの内に自分自身の怪我やリスクが高くなる事に繋がりがねない為、育成事業に参加したお陰で、座学で学んだなど思い出したりテキストで調べたり出来る良さがあります。知識があれば、怪我や危険から身を守りながら仕事を頑張れます。(もちろん職場でも工場長を始め周囲が気にかけてくれています。)
- ・取得した資格の中では、特に玉掛けはすぐに使いましたし、数多く行っています。また溶接の資格も役に立っていて、溶接の研修時間も適切だったと感じています。欲を言えば半自動溶接の時間がもう少しあっても良かったです。働いてみて研修時を振り返ってみると、就職した研修生が職場で困らないように実際に職場で必要になるだろう事を授業の中や雑談の中で繰り返し教えてくれた講師の先生にはとても感謝をしています。Cad、Word、Excel の研修についても受けられた事で大変助けられており、むしろ今教わりたいこともあるので再度学びたい気持ちでいっぱいです。

報告 事業推進員 中村